

Hodogaya Community Orchestra

保土ヶ谷コミュニティ オーケストラ

第37回定期演奏会

黎明の巨星

ヴェルディ

歌劇《ナブッコ》序曲

G.Verdi / "Nabucco" Overture to the Opera

シベリウス

《カレリア》組曲 作品11

J.Sibelius / Karelia Suite, Op.11

ブラームス

セレナード 第1番 二長調 作品11

J.Brahms / Serenade No.1 D Major, Op.11

岸本沙恵子（指揮）

2026. 3. 29 (日) 13:30開演 (12:30開場)

横浜みなとみらいホール (大ホール)

チケット (全席指定) ¥1,000 ※前売¥800

未就学児童の入場はご遠慮下さい

チケット販売 ◆ **teket** <https://teket.jp/4764/46318>

横浜みなとみらいホールチケットセンター (窓口販売のみ)

お問い合わせ：080-5104-4998 ※19時以降

(保土ヶ谷コミュニティオーケストラ事務局)

ホームページ：<https://hodogaya-orche.org/>

主催：保土ヶ谷コミュニティオーケストラ

後援：保土ヶ谷区役所 横浜市教育委員会 神奈川新聞社



Hodogaya Community Orchestra The 37th Subscription Concert

保土ケ谷コミュニティオーケストラ 第37回定期演奏会

岸本 沙恵子 (指揮) Saeko Kishimoto, Conductor



幼少の頃よりピアノを始める。小学生時代は地域の鼓笛隊に入り、リコーダーやスネアに触れる。中学校の吹奏楽部にてトロンボーンを担当。神奈川県立希望ヶ丘高等学校吹奏楽部にて打楽器を担当。学生指揮者を務め、2学年先輩の山田和樹氏に影響を受け指揮者を志す。山田氏に指揮の基礎、楽典を教わる。

洗足学園音楽大学声楽専攻を卒業。白幡武氏に師事。在学1年次より、同大学附属指揮研究所にも在籍。ベーシックおよびマスタークラス修了、指揮を秋山和慶（故）、河地良智、川本統脩の各氏に師事。スコア・リーディングを島田玲子(故)、西川麻里子の各氏に師事。

2003年より、東京指揮研究会主催の指揮セミナーにて、ウィーン国立音楽大学指揮科、元准教授の湯浅勇治氏（故）に師事。ローム・ミュージック・ファンデーションを受講し、指揮、ウィーン古典派の音楽様式、音楽語法を湯浅氏に、スコア・リーディング、ソルフェージュ、コレパティツィオンの基礎を三ツ石潤司氏に師事。

以降、湯浅氏の信頼を受け、約13年間、日本での指揮セミナーを取り仕切り、湯浅氏の下で学んだ。

2007年度、アフィニス音楽祭に指揮研究員として参加。同音楽祭にて、下野竜也氏に師事。

2017年、民主音楽協会主催の国際指揮講習会を受講し、尾高忠明氏、Chi-Yong CHUNG氏に師事。2018年、東京二期会オペラ劇場、モーツァルト作曲『後宮からの逃走』において、下野竜也氏の副指揮を務める。

2025年6月、オペラ『みづち』（丹治富美子作・台本、富貴晴美作曲）初演において、下野竜也氏の副指揮を務める。

その他、これまでにピアノを佐野幸枝、大石由起子の各氏に、和声・対位法の基礎を中原達彦氏に、指揮を松沼俊彦氏に師事。

楽譜をどのように読み取り音に再現するか、感動する音楽とはどういうものなのか、日々考え音楽に向き合っている。

保土ケ谷コミュニティオーケストラ Hodogaya Community Orchestra

横浜市の保土ケ谷区を中心に活動している区民オーケストラである。メンバーは本拠地である保土ケ谷区はもちろん、区外、さらには横浜市外からも参加し、年齢層も多岐にわたる。

コンサートは、横浜みなとみらいホール等、保土ケ谷区外会場で行われる自主公演の「定期演奏会」、そして保土ケ谷公会堂で行われる、保土ケ谷区主催の「区民コンサート」、同区と共催の「ふれあいコンサート」、以上年3公演がある。

(保土ケ谷コミュニティオーケストラでは団員を募集しています。)

詳しくは、右QRコードでホームページ→団員募集ページまで



横浜みなとみらいホールへのアクセス

みなとみらい駅から

みなとみらい駅（東急東横線直通/みなとみらい線）下車、
「クィーンズスクエア横浜連絡口」より（徒歩3分）

桜木町駅から

桜木町駅（JR 京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄）下車、
動く歩道からランドマークプラザ経由でクィーンズスクエア1階奥
（徒歩12分）